

# 横浜市 ESD 推進コンソーシアム交流報告会

大人にとっての・・・子どもにとっての・・・

## ウェルビーイング×学校教育の役割

## 社会課題の解決×連携・協働



日時 2024年1月27日（土）9：40～16：45

会場 日本丸メモリアルパーク 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-1-1

▶第1部 児童生徒の部 9：40～12：00（受付開始9：30～）

ポスターセッション：横浜市立SDGs達成の担い手育成（ESD）推進校、

よこはま子ども国際平和プログラムピースメッセンジャーの取組紹介

ワークショップ：児童生徒のグループで連携・協働についての意見交換

▶第2部 教員研修の部 13：30～16：45（受付開始13：10～）

次のテーマに関する講演や参会者によるグループ協議及び情報交換

「ウェルビーイングを実現に向けた学校教育の役割」

「地域や社会の課題解決に向けて、学校と企業が連携・協働する意義」

○横浜市立学校の管理職及び教職員は研修管理システム Leaf からお申し込みください。

研修コード 第1部：23ki4232a 第2部：23ki4232b

○横浜市立学校以外の方は、次の URL または、右の二次元コードからアクセスをしてお申込ください。

<https://forms.gle/Jf9z8ocnR5nLBASQ6>

○申込み期限 2024年1月24日（水）参加人数に上限があるため、期日前に申し込みを終了することもあります。



主催 横浜市教育委員会

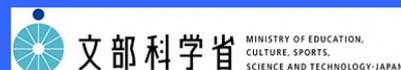
お問合せ 小中学校企画課 045-671-3265

E-mail ky-esd@city.yokohama.jp

後援

ESD 活動支援センター

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター



本事業は文部科学省のSDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業として行われています。

## 横浜市 ESD 推進コンソーシアム交流報告会（児童・生徒の部）実施要項

### 1 目的

- ・今年度の学習活動のまとめとして発表を行い、自分たちの活動を振り返ると共に、他校の活動やSDGsについて多様な考え方を知る。
- ・意見交流を通して、実現したいこと地域・企業・NPOなどの他の人と一緒に取り組むことの良さを感じ、これからの活動や自分の行動について考えるきっかけにする。

### 2 日時

令和6年1月27日（土） 9:10 受付開始 9:40 開会 12:00 閉会予定

### 3 場所

日本丸メモリアルパーク 第1・2会議室（150名）

西区みなとみらい2-1-1

JR根岸線 市営地下鉄ブルーライン 桜木町駅 徒歩5分

みなとみらい線 みなとみらい駅・馬車道駅 徒歩5分

### 4 当日の流れ

#### （1）時程

時刻	所要	次第	
9:30			一般受付開始
9:40	10	1	午前の部開会 教育委員会挨拶 本日の流れについて
9:50	40	2	<b>ポスターセッション</b> （参加校による学習活動の報告） 1セッション20分×2回 ①Aグループポスター発表・Bグループ見学 ②Bグループポスター発表・Aグループ見学
10:30	5		ポスターセッションを受けて（学校ごとに交流、全体で交流）
10:35	10		<トイレ休憩・移動>
10:45	60	3	<b>ワークショップ</b> （裏テーマは「地域・企業・NPOなどとの連携・協働」） 説明5分、ワークショップ40分、まとめ15分
11:45	5	4	諸連絡
12:00			午前の部終了（午後の教員の部 13:10 受付 13:30 開始）

## (2) ワークショップの内容

10:40 説明

- ① **ファシリテーターは中高生が担当する**
- ② **自分の呼んでほしい名前と、自分の活動（前段階で報告したもの）について SDGs とつなげて伝えあう。（模造紙に SDGs のカードをはって、活動のタイトルを黒ペンで書き込む）**
- ③ **活動の中で、どのような人とつながった・関わったのかを伝え合う（黒ペン）**
- ④ **つながって・関わってよかった楽しかったこと/大変だったりうまくいかなかったことを伝え合う**
- ⑤ **目的達成のために、もっとこんな風に連携・協働したい、できたらいいな、そのために自分たちには何ができるかな？を考え、模造紙にまとめる（赤ペン）**
- ⑥ **隣のグループで模造紙に書かれたことを説明し合い、情報共有する。**

10:45 ワークショップ開始 ※先生や保護者は、児童生徒の様子をご参観ください

11:30 ワークショップ終了 ※模造紙は、壁に掲示

11:35 ワークショップを受けて（講評）（東洋大学社会学科教授 米原 あき氏）

11:45 ワークショップ終了

## 4 参加者

SDGs 達成の担い手育成（ESD）推進校の児童生徒（各校 6名程度 の参加を想定）、参加校保護者、横浜市立学校教職員、よこはま子ども国際平和プログラムピースメッセンジャー、市外学校教職員、ESD 推進関係者

## 5 天候悪化に伴う対応について

当日、午前6時時点で暴風警報・大雪警報が出ている場合は、午前の部は中止とします。天候不安の場合は、申込者の方へ代表して前日に連絡いたします。

## 横浜市ESD推進コンソーシアム交流報告会（教職員の部） 実施要項

### 1 目的

- ・教育活動の目的と手段をESDの視点で見直すことで、社会における学校教育の役割を考える。
- ・地域・企業・NPOなどと連携・協働することによる児童生徒や教職員、関係者等の変容を共有し、その価値を認識することで、社会に開かれた教育課程について理解を深める。
- ・参会者同士の意見交流を通して、各学校のESDの充実につなげる。

2 日時 令和6年1月27日（土） 13:10 受付開始 13:30 開会 16:45 閉会予定

3 場所 日本丸メモリアルパーク 第1・2会議室（150名）

西区みなとみらい2-1-1

JR根岸線 市営地下鉄ブルーライン 桜木町駅 徒歩5分

みなとみらい線 みなとみらい駅・馬車道駅 徒歩5分

4 参加者 市立学校教職員 市外学校教職員

横浜市ESD推進コンソーシアム委員 ESD関係者

### 5 時程

時刻	所要	次第	
13:10			受付開始 司会：岡本 覚（小中学校企画課）
13:30	5	1	開会 教育委員会挨拶：高橋 義成（小中学校企画課長）
13:35	5	2	目的・趣旨説明：前田 総一郎（小中学校企画課首席指導主事）
13:40	35	3	講演 米原 あき 氏（東洋大学教授・本市ESD推進コンソーシアム委員） 「ウェルビーイングの実現に向けた学校教育の役割（仮）」
14:15	25	4	<b>グループ協議1「自分にとってのウェルビーイングと学校教育のつながり」</b>
14:40	10		<休憩・準備>
14:50	35	5	<b>連携・協働実践報告（ステークホルダー交流会参加者）</b> 「地域や社会の課題解決に向けて、学校と企業が連携・協働する意義」 高倉 徳人 氏（南希望が丘中学校 教諭） 松坂 匠記 氏（株式会社 kitafuku 代表取締役） 市川 恵 氏（東高等学校 主幹教諭） 関 芳実 氏（株式会社 StockBase 代表取締役） コーディネーター：渡辺 徹（小中学校企画課）
15:25	25	6	<b>グループ協議2「地域や社会の課題解決に向けて、取り組みそうなこと」</b>
15:50	10		<休憩>

（次ページあり）

- 16:00 40 7 振り返り・まとめ
- (10) 質疑応答・アンケート入力（2次元コード）
- (15) グループ感想交流
- (15) まとめ米原 あき 氏（東洋大学教授・本市ESD推進コンソーシアム委員）
- 16:40 5 8 事務連絡 閉会